

コロナ関連死者数を試算、8月は4911人で7月の2倍…5類移行後では最多

2023/10/27 読売新聞

厚生労働省は27日、新型コロナウイルスの関連死者数が8月は最大4911人だったとの試算を発表した。7月（最大2486人）と比べ約2倍となり、5類移行後では最多となった。

政府の経済対策修正案、コロナ対策など予備費充当…所得・住民税の減税規模は「3兆円台半ば」

死者数を迅速に把握するため、自治体に提出された死亡診断書の情報を基に試算し、毎月公表している。8月は、直接の死因などが「新型コロナ」だったのは2830人で、間接的に影響した人を加えると、4911人に上った。ただ、第7波の感染拡大が起きた前年同月（最大1万1599人）は大きく下回った。

厚労省の担当者は「感染状況は8月下旬頃がピークだったため、9月も死者数が多くなる可能性がある」としている。

一方、全国約5000か所の定点医療機関から16～22日の1週間に報告された感染者数は1医療機関あたり3・25人だった。前週（3・76人）と比べ0・86倍となり、7週連続で減少した。都道府県別では、最多は北海道の6・79人で、長野の5・17人、福島の4・93人が続いた。

政府の経済対策修正案、コロナ対策など予備費充当…所得・住民税の減税規模は「3兆円台半ば」

2023/10/31 読売新聞

政府が11月2日にも閣議決定する経済対策の財源の一部として、2023年度予算で計上したコロナ対策などの予備費5兆円の一部を充てることが分かった。経済対策の財源として、コロナ・物価高対策予備費4兆円と、ウクライナ情勢への対応などを名目とした1兆円の予備費をそれぞれ減額して活用する。所得税と住民税の減税規模は「3兆円台半ば」と明記した。

また、小中学生に1人1台の学習用端末を配る「GIGAスクール構想」で、古くなった端末を計画的に更新するため、国の支援で各都道府県に基金を創設することも対策に盛り込む。同構想は全国の小中学生にノートパソコンやタブレット端末を配備するもので、配備はほぼ完了したが、端末の更新が課題となっていた。新たな基金の支援を5年間続ける方向だ。

政府は、自民、公明両党が31日に開く政調全体会議で修正案を示す。

全国の療養状況

1医療機関あたり患者報告数 3.25人(前週比 -0.51人)

入院者 5806人(前週比 -1180人)

うち重症者 106人(前週比 -32人)

Source: 厚生労働省・患者報告数は10月22日までの1週間、入院・重症者数は10月25日0時現在

